

国語
1

国語辞典の使い方



1 次の文を読んで にあてはまる言葉をえらんで、その番号を書きましよう。

国語辞典じてんに取り上げられている言葉は、

といます。この言葉をさがすときは、 や

「はしら」をつかいます。

1 見出し語	2 つめ
--------	------

2 国語辞典で、次の言葉はどんな順に出てくるでしょう。出てくる順に番号を()に書きましよう。

() ふかい

() ひろい

() ふとい

3 国語辞典で、次の言葉はどちらが先に出てくるでしょう。 に言葉を書きましよう。

・「いちじく」と「いちご」

・「すいどう」と「すいどう」

・「びょういん」と「びょういん」

--	--	--

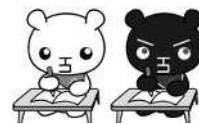
4 見出し語(辞典に取り上げられている形)にしましよう。

<p>かかない かきます かくもの かけば かこう</p>	<p>ふかかろう ふかかった ふかくなる ふかい谷 ふかければ</p>
↓	↓
<input type="text"/>	<input type="text"/>

組	番	名前	かかった時間	とけた数
				/ 10

国語
1

国語辞典の使い方



1 次の文を読んで にあてはまる言葉をえらんで、その番号を書きましよう。

国語辞典じてんに取り上げられている言葉は、

1

といます。この言葉をさがすときは、 2

や

「はしら」をつかいます。

1 見出し語 2 つめ

2 国語辞典で、次の言葉はどんな順に出てくるでしょう。出てくる順に番号を()に書きましよう。

(2) ふかい

(1) ひろい

(3) ふと

2 国語辞典で、次の言葉はどちらが先に出てくるでしょう。 に言葉を書きましよう。

「いちじく」と「いちご」

いちご

「すいとう」と「すいどう」

すいどう

「びょういん」と「びよういん」

びよういん

3 見出し語(辞典に取り上げられている形)にしましよう。

かかない
かきます
かくもの
かけば
かこう

かく

ふかかろう
ふかかった
ふかくなる
ふかい谷
ふかければ

ふかい

組	番	名前	かかった時間	とけた数
				／10

国語

2

漢字のおさらい（1）



1

次の文中の——線部を漢字で書きましよう。（送りなががひつようなときは送りがなも書きましよう。）

① 物語のとうじよう人物

② かぞくで出かける。

③ がくしゅうの計画を立てる。

④ 電車がうごく。

⑤ りんごがみのる。

⑥ ふさわしいことばをえらぶ。

⑦ いみを考える。

⑧ あたたかな心

⑨ 図かんでしらべる。

⑩ といに答える。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①

組	番	名前	かかった時間	とけた数
				/10

国語
2

漢字のおさらい（1）



1 次の文中の——線部を漢字で書きましよう。（送りながひつようなときは送りがなも書きましよう。）

① 物語のとうじよう人物

② かぞくで出かける。

③ がくしゅうの計画を立てる。

④ 電車がうごく。

⑤ りんごがみる。

⑥ ふさわしいことばをえらぶ。

⑦ いみを考える。

⑧ あたたかな心

⑨ 図かんでしらべる。

⑩ といに答える。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
問 い	調 べる	温 か	意 味	言 葉	実 る	動 く	学 習	家 族	登 場

組	番 名前	かかった時間	とけた数
			/10

国語
3

おん くん
漢字の音と訓



1

漢字の読み方には、「音」と「訓」があります。次の読み方は、「音」と「訓」のどちらでしょうか。□に「音」か「訓」を書きましよう。

星

セイ
ほし

「セイ」のように、聞いただけでは意味の分りにくいものが多い
「ほし」のように、聞いただけで意味の分かるものが多い

--	--

2

次の文は漢字の二とおりの読み方のはじまりについてまとめた文です。合う言葉をえらんで()に番号を書きましよう。

漢字は、はるかおかしに()で生まれました。もともと文字のなかった日本は、となりの中国で使われていた漢字を使って、()を書き表すくふうをしました。中国語では、「山」という漢字を「サン」というような発音で読んでいたので、日本でも「サン」と読みました。これが、「音」です。また、日本では、「まわりの土地より高くなっている所」のことを「やま」といっていました。そこで同じ意味のこの漢字を「やま」とも読みました。「こ」の読み方が()です。

- | | | | | | |
|---|----|---|----|---|-----|
| 1 | 日本 | 2 | 中国 | 3 | 日本語 |
| 4 | 音 | 5 | 訓 | | |

3

——線部の言葉は、「音」と「訓」のどちらが使われているでしょうか。□の中に書きましよう。

① 主語と述語のそろった文を書く。

--

② 一分は六十秒だ。

--

③ 農家のおじさんに話をきく。

--

④ 氷がとけて水になる。

--

⑤ ゆうびん局までの近道を教える。

--

組	番	名前	かかった時間	とけた数
				/10

国語
3

おん くん
漢字の音と訓



1

漢字の読み方には、「音」と「訓」があります。次の読み方は、「音」と「訓」のどちらでしょう。次の読み方を「訓」を書きましよう。

星

セイ
ほし

- 「セイ」のように、聞いただけでは意味の分りにくいものが多い
- 「ほし」のように、聞いただけで意味の分かるものが多い

訓	音
---	---

2

次の文は漢字の二とおりの読み方のはじまりについてまとめた文です。合う言葉をえらんで()に番号を書きましよう。

漢字は、はるかおかしに(2)で生まれました。もともとの文字のなかった日本は、となりの中国で使われていた漢字を使って、(3)を書き表すくふうをしました。中国語では、「山」という漢字を「サン」というような発音で読んでいたので、日本でも「サン」と読みました。これが、「音」です。また、日本では、「まわりの土地より高くなっている所」のことを「やま」といっていました。そこで同じ意味のこの漢字を「やま」とも読みました。「こ」の読み方が(5)です。

このようにして、「音」と「訓」の読み方はできました。

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 日本 | 2 中国 | 3 日本語 |
| 4 音 | 5 訓 | |

3

——線部の言葉は、「音」と「訓」のどちらが使われているでしょう。□の中に書きましよう。

① 主語と述語のそろった文を書く。

音

② 一分は六十秒だ。

音

③ 農家のおじさんに話をきく。

訓

④ 氷がとけて水になる。

訓

⑤ ゆうびん局までの近道を教える。

訓

組	番	名前	かかった時間	とけた数
				／10

国語
4

俳句を楽しもう



1 次の文の に合う言葉を書きましよう。

俳句は、五・・の十七音で作ら

れた短い詩です。ふつうは、きせつを表す言葉が入って

ます。これを といいます。

昔の詩や歌には、「いろは歌」のように七音と 音

を組み合わせて、調子を整えているものがたくさんあります。

2 次の俳句が表しているきせつを書きましよう。

① 春の海終日ひねもすのたりのたりかな 与謝蕪村よさぶそん

きせつ ()

② 閑かさや岩いずにしみ入る蟬せみの声 松尾芭蕉まつおばしやう

きせつ ()

③ 雪とけて村いっばいの子どもかな 小林一茶こばやし いっさ

きせつ ()

3 次の俳句の () に当てはまる言葉からえらんで書きましよう。

① () 一足すづつに海見ゆる

小林一茶

② () 蛙かわず飛びこむ 水の音

松尾芭蕉

③ () 月は東に 日は西に

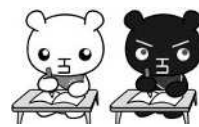
与謝蕪村

春の海	夏山や
菜の花 <small>な</small> や	古池や

組	名前	番	かかった時間	とけた数
				/10

国語
4

俳句を楽しもう



1 次の文の [] に合う言葉を書きましよう。

俳句は、五・ [七] ・ [五] の十七音で作ら

れた短い詩です。ふつうは、きせつを表す言葉が入ってい

ます。これを [季(き)語] といいます。

昔の詩や歌には、「いろは歌」のように七音と [五] 音

を組み合わせて、調子を整えているものがたくさんあり

ます。

2 次の俳句が表しているきせつを書きましよう。

① 春の海終日ひねもすのたりのたりかな 与謝蕪村よさぶそん

きせつ(春)

② 閑かさや岩いすにしみ入る蝉せみの声 松尾芭蕉まつおばしやう

きせつ(夏)

③ 雪とけて村いっばいの子どもかな 小林一茶こばやし いっさ

きせつ(春)

3 次の俳句の()に当てはまる言葉を書きましよう。 [] からえ

① (夏山や) 一足すづつに海見ゆる

小林一茶

② (古池や) 蛙かわず飛びこむ 水の音

松尾芭蕉

③ (菜なの花や) 月は東に 日は西に

与謝蕪村

春の海 夏山や
菜の花や 古池や

組	番	名前	かかった時間	とけた数
				／10

国語
5

ふごう
こそあど言葉・符号など



1 次の文に使われている符号ふごうの名前を、後ろの□からえらんで、言葉を書きましよう。

① 赤・白・黄色など。

□ () () ()

② 「なんておそろしい——。」

□ □ () () () ()

③ 母は、台どころに立った。

□ □ () () () ()

かぎ 中点
句点 読点
ダッシュ

3 次の文の□に当てはまる言葉をえらび、書きましよう。

① 「この・その・あの」や「これ・それ・あれ」などは、

何かをさししめす言葉です。このような言葉をまとめ
て □
といいます。

② さししめすものがはっきりしない場合は、

□

を使います。

③ 相手に近いものをさししめす場合は

□

を使います。

④ 話し手に近いものをさししめす場合は

□

を使います。

⑤ 話し手からも相手からも遠いものをさししめす場合

は、 □
といいます。

これ・どれ・あれ・それ・こそあど言葉

組	番	名前	かかった時間	とけた数
				／10

国語
5

ふごう
こそあど言葉・符号など



① 次の文に使われている符号の名前を、後ろのからえらんで、言葉を書きましよう。

① 赤・白・黄色など。

(中点)

② 「なんておそろしい——」。

(ダッシュ)

(かぎ)

③ 母は、台どころに 立った。

(読点)

(句点)

かぎ 中点
句点 読点
ダッシュ

③ 次の文の 当てはまる言葉を書きましよう。

① 「この・その・あの」や「これ・それ・あれ」などは、何かをさししめす言葉です。このような言葉をまとめて **こそあど言葉** といいます。

② さししめすものがはっきりしない場合は、 **どれ** を使います。

③ 相手に近いものをさししめす場合は **それ** を使います。

④ 話し手に近いものをさししめす場合は **これ** を使います。

⑤ 話し手からも相手からも遠いものをさししめす場合は、 **あれ** といいます。

これ・どれ・あれ・それ・こそあど言葉

組	番	名前	かかった時間	とけた数
				／10

国語
6

漢字のおさらい (2)



1

次の文中の——線部を漢字で書きましよう。(送りながひつようなときは送りながも書きましよう。)

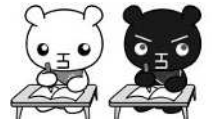
- ① かなぐをひろう。
- ② ゆうめいなかん光地に行く。
- ③ こまをまわして、あそぶ。
- ④ 西の空のようすから天気をよそ
うする。
- ⑤ つうがくろをまもって登校する。
- ⑥ もうひつの作品をはる。
- ⑦ 近くのぎんこうをさがす。
- ⑧ しらたまだんごを作る。
- ⑨ ふつか間の合しゆくにさんかする。
- ⑩ 手紙をゆうびんでおくる。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①

		名前	かかった時間	とけた数
組	番			／10

国語
6

漢字のおさらい (2)



① 次の文中の 線部を漢字で書きましよう。(送りながひつようなときは送りがなも書きましよう。)

- ① かなぐをひろう。
- ② ゆうめいなかん光地に行く。
- ③ こまをまわして、あそぶ。
- ④ 西の空のようすから天気をよそうする。
- ⑤ つうがくろをまもって登校する。
- ⑥ もうひつの作品をはる。
- ⑦ 近くのぎんこうをさがす。
- ⑧ しらたまだんごを作る。
- ⑨ ふつか間の合しゆくにさんかする。
- ⑩ リサイクル品をあつめる。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
集める	二日	白玉	銀行	毛筆	通学路	様子	回して 遊ぶ	有名	金具 拾う

組	番 名前	かかった時間	とけた数 /10
---	------	--------	-------------